

進路の手引き

# ロードマップ

大阪府立寝屋川高等学校

定時制の課程

進路保健部

年	組	番	氏名
---	---	---	----

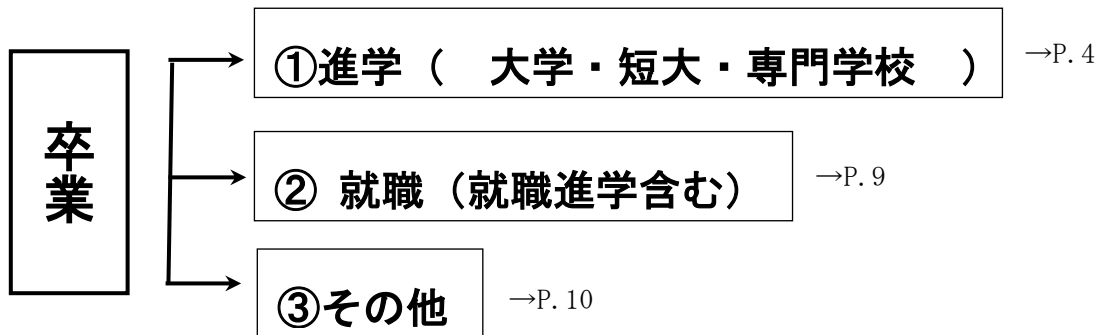
## もくじ

はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 1
1 学年別進路指導予定	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
2 進学	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 4
2-1 進学全般（大学、短大、専門学校の違い）		
2-2 進学方法		
2-3 専門学校を知る	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 7
2-4 保護者の方へ	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 8
3 就職	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 9
3-1 就職方法		
3-2 保護者の方へ	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 10
4 その他	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 10
5 奨学金	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 11
6 障がいがある人の進路	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 12
6-1 働くことを学ぶ（進学）		
6-2 働く（就職）		
7 卒業生の主な進路	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 13
8 最後に	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 14

# はじめに

このロードマップはあなたが高校を卒業するまで使うことになります。大切に保管して、なくさないようにしてください。入学時には長いと思う高校生活も、卒業する頃には「あっという間やった」と感じると思います。高校生活で勉強に部活に頑張れば頑張るほど、3年や4年は「あっという間」なのです。それでは、卒業した後は何をしますか。この「何を」を考えていくのが進路なのです。進路については早い段階で考えはじめたほうが、あなたにとって有利になります。でも、何からどう考えて、どう行動したらいいかわかりませんよね。まずはこのロードマップをじっくり読んでください。ロードマップを読んでもどうしたらいいかわからなければ、進路指導の先生に相談しにきてください。また、進路については、先生だけではなく家族にも相談しましょう。

高校卒業後には、大きく分けて3つの道があります。「進学」、「就職」、「その他」です。それぞれについて詳しく説明していきます。



## 卒業後の進路

卒業年度	卒業生	進学(3月末末)				就職(次年度6月末末)				
		大学	短大	専門学校	各種学校	学校	自己開拓	縁故	公務員	パート
H28年度	61	2	2	7	1	14	13		0	14
H27年度	43	1	0	1(+1)	1	12	8	2	0	8
H26年度	57	4	1	8(+3)	1	14	7	1	0	16
H25年度	73	2	1	4	2	16	11		0	37
H24年度	57	5	1	5	1	8	6		0	26
H23年度	56	6	0	8	1	3	4		0	27
H22年度	69	4	0	4	0	9	13		0	16

※+は浪人生を示す

# 1 進路指導年間計画

※総合 or 総合学習…総合的な学習の時間

## A：第1学年

月	題 目	内 容
4月	オリエンテーション	進路指導について
5月	春の進路ガイダンス	(総合×2)進路講座A①「職業の世界を知ろう」職業興味検査 進路講座A②「就業(アルバイト等)してみよう」、調査(就労希望)
6月	進路 HR	進路講座A③「自分を知ろう」性格検査
9月	進路 HR	進路講座A④「進学とは?就職とは?」、秋の進路ガイダンス調査
10月	秋の進路ガイダンス	(総合×2) 進路講座A⑤「働くということ～進級した先にあるもの～」、職種別説明会
11月	進路 HR	進路講座A⑥「調査書の内容を知ろう」
1月	進路 HR	進路講座A⑦「より良い履歴書を作成するためには」、調査(進路調査②)

## B：第2学年(通信制生徒以外)

月	題 目	内 容
4月	HR	調査(春の進路ガイダンス受講希望調査)
5月	春の進路ガイダンス	(総合×2)進路講座B①(ロードマップ使用)「進路希望を決める」
6月	進路 HR	進路講座B②「自己分析」
9月	進路 HR	進路講座B③「進路知識を広めよう」、秋の進路ガイダンス調査
10月	秋の進路ガイダンス	(総合×2) 進路希望別、職種別、学校分野別説明会
11月	進路 HR	進路講座B④「自己理解とアピール」
1月	進路 HR	進路講座B⑤「できること、やるべきこと」、調査(進路調査②)

## C：第2学年(通信制生徒)・第3学年(卒業予定生徒以外)

月	題 目	内 容
4月	HR	調査(春の進路ガイダンス受講希望調査)
5月	春の進路ガイダンス	(総合×2) 進路講座C①(ロードマップ使用) 就職：「就職するためには」、進学：「進学するためには」
6月	進路 HR	進路講座C②「やりたいこと、やれること」
9月	進路 HR	進路講座C③「進路知識を深めよう」、秋の進路ガイダンス調査
10月	秋の進路ガイダンス	(総合×2) 進路希望別、職種別、学校分野別説明会
11月	進路 HR	進路講座C④「求人票からわかること」
12月	講演会(3全)	講演会「パーソナルファイナンス講座」(日本ファイナンシャルプランナーズ協会)
1月	進路 HR	進路講座C⑤「近畿統一応募用紙とは」、調査(進路調査②)

※総合 or 総合学習・・・総合的な学習

※全・・・全学年、定・・・定時制生徒、通・・・通信制生徒

**D：第3学年（卒業予定生徒）・第4学年**

※総合 or 総合学習…総合的な学習の時間

※全…学年生徒全体、定…定時制生徒、通…通信制生徒

月	題目	内容
4月	HR	調査（春の進路ガイダンス受講希望調査）
5月	春の進路ガイダンス（総合×2）	就職 講演会「職業講話」（HW） 進学 就職活動（学校紹介就職斡旋） 進学 進学スケジュール（オープンキャンパス、志望校決定、入試制度）
	総合学習【就職セミナー①】	就職 ガイダンス、学校紹介・就職活動・高卒求人の説明、調査（希望職種）
	総合学習【就職セミナー②】	就職 自己理解、職業職種の理解、筆記対策、面接練習（入室着席）
6月	進路 HR	就職 進路講座D① 講演会「身だしなみ講座」（スーツのAOKI） 進学
	総合学習【就職セミナー③】	就職 職場見学・職種体験会の説明、職場見学会の説明、筆記対策、面接練習
	総合学習【就職セミナー④】	就職 求人票・インターネット公開求人・指定校求人票の説明、筆記対策、面接練習
	総合学習【就職セミナー⑤】	就職 応募前職場見学の説明、応募前職場見学先希望調査について、筆記対策、面接練習
	総合学習【就職セミナー⑥】	就職 就職ゼミの説明、応募書類の説明、職場見学会希望調査、筆記対策、面接練習
7月	求人票閲覧開始	就職 インターネット公開求人・指定校求人票閲覧開始
	進路セミナー①（放課後） 就職：就職セミナー未受講者	就職 学校紹介・就職活動・高卒求人の説明、求人票・インターネット公開求人・指定校求人票の説明、筆記対策、面接練習（入室着席・挨拶退席）
	進路セミナー②（放課後） 就職：就職セミナー未受講者	就職 応募前職場見学の説明、応募前職場見学先希望調査について、応募書類の説明、筆記対策、面接練習 進学 オープンキャンパスの説明、入試、出願準備について、面接練習、入試勉強
	職場見学会	就職 職場見学会（HW 主催）
	応募前職場見学（以降随時）	就職 応募前職場見学参加（教員付添、事前申込）
	オープンキャンパス（以降随時）	進学 オープンキャンパス参加
	就職ゼミ（8月末まで） （別途予定表作成）	就職 応募書類作成、筆記対策、面接練習、個別特訓 進学 出願準備、面接練習、入試勉強、個別特訓
8月	就職ゼミ（以降随時） （始業前、放課後等）	就職 以降、随時個別特訓 進学
	総合学習【就職セミナー⑦】	就職 就職応募用紙発送準備完了
9月	就職応募開始	就職 就職応募用紙発送開始
	推薦入試出願開始	進学 推薦入試出願開始
	就職選考開始	就職 就職選考開始
	総合学習【就職セミナー⑧⑨⑩】	就職 応募書類作成、筆記対策、面接練習、個別特訓
	進路 HR	就職 進路講座D②「進路意識を高めよう」、秋の進路ガイダンス調査 進学
10月	大学センター入試出願	進学 全日制と定時制、併せて出願
	秋の進路ガイダンス（総合×2）	就職 進路希望別、職種別、学校分野別説明会、調査（進路決定状況①） 進学
	推薦、社会人入試開始	進学 指定校推薦入試・公募推薦入試・社会人入試開始
	総合学習【就職セミナー⑪】	就職 内定者からのアドバイス、合同求人説明会の説明、個別特訓
11月	総合学習【就職セミナー⑫⑬】	就職 内定者からのアドバイス、個別特訓
	合同求人説明会	就職 合同求人説明会参加
	総合学習【就職セミナー⑭⑮⑯⑰】	就職 未内定者：個別特訓 内定者：礼状作成、ビジネスマナー
12月	進路 HR	就職 進路講座D③「社会人として」 進学
	講演会（4全）	就職 講演会「ブラック企業、ブラックバイト」（大阪司法書士会） 進学
1月	センター入試	進学 大学入試センター試験
	HR	就職 調査（進路調査②、進路決定状況②） 進学
	総合学習【就職セミナー⑱⑲⑳】	就職 未内定者：個別特訓 内定者：ビジネスマナー

## 2 進学

### 2-1 進学全般（大学、短期大学(短大)、専門学校の違い）

進学はお金がかかり、国公立の学校や夜間部の学校であっても、かなりの金額が必要になります。ましてや私立となると、初年度納付金が150万円という学校が一般的です。これは学校（学部）によって異なるので十分な下調べが必要です。進学を希望していても、経済的理由で進学を断念したケースもあります。そして「どうしても勉強がしたい」「技術を身につけたい」などの確固たる信念がないと、学生生活を続けることができません。せっかく入学したのに退学してしまうという場合もあります。土日や夏休みなどに開催されるオープンキャンパスを活用し、学校の特徴や雰囲気などをしっかりと見て、十分納得してから決めましょう。

進学を希望している皆さんは、将来就きたい仕事、進みたい分野を決めて、学校の情報を広く集め、その中から慎重に進学先を決定しましょう。

#### ①大学

大学では学ぶ分野ごとに「学部」が設置され、学部はさらに「学科」「専攻」「コース」などにわかれます。自分が選択した専門的な学問を学ぶとともに、幅広い教養を身につけるための教育も受けることができます。4年間で124単位以上取得すると卒業でき、「学士」の学位が与えられます。

#### ②短期大学(短大)

大学と同じように幅広い教養と、職業や生活に役立つ実務教育（専門教育）の2本柱が特徴です。短期間のうちに、教養科目と専門科目を学ぶので、学生生活が忙しくなります。2年間で62単位以上取得すれば「短期大学士」の学位が与えられます。医療系の学科では、3年間で93単位以上が必要です。

#### ③専門学校

「専修学校専門課程」のことで、職業に直結した知識・技術、資格を身につけるための学校です。最大の特長は、実習の多さです。実習が多いと、欠席や遅刻・早退は禁物で、一日でも休んでしまうと、かなりの遅れを取ってしまいます。厳しい面もありますが、将来の目標がはっきりと決まっている人にはおすすめです。卒業生には「専門士」「高度専門士」の称号が与えられます。

### 2-2 進学方法

#### ①受験校の選択・決定

自分の興味・関心をふまえ「何を勉強し、身につけたいのか」「どんな資格を取りたいのか」「どんな仕事に就きたいか」などを考えます。その上で「進学にかかる費用」などを含め、家族と話し合っ  
て決めましょう。推薦入試では、成績や出席状況の条件が設定されています。毎日の学校生活を大事にし、欠席・遅刻をしないことはもちろんですが、学校行事などにも積極的に参加しましょう。

#### ②入試対策

早いところでは6月からAO入試が、9月中旬から推薦入試の願書受付が始まります。よって、早めに受験校をしぼる必要があります。オープンキャンパスは早い時期から行われているので、早めに参加し、自分自身の進学意欲を高めましょう。

### ③受験準備

受験の準備には、学力対策の受験勉強と、費用対策の入学金等の準備が必要です。

#### ・ 受験勉強（学力対策）

学力対策として、①日々の授業を大切に、②自宅学習をする、この2点は基本です。あわせて、入試に必要な力（受験科目、小論文、面接等）を身につける必要があります。希望する学校の入試方法をふまえて、担任や進路指導の先生に相談しながら準備しましょう。

受験科目対策では、まず志望学校の過去問題集を解いてみましょう。外部の模擬試験を受験してみて、自分の実力を知り、これを自覚した上での努力が必要になります。

小論文は一般的には課題小論文で800字（原稿用紙2枚）程度です。課題に対する自己の考えを述べる内容のものが多いので、自分の考えを明確に示し、具体例や他の考え方などを引用しながら、必ず書く練習をしましょう。

#### ・ 入学金等の準備（費用対策）

費用対策としては、保護者と十分に相談しなければなりません。受験料・入学金・授業料等、受験～入学～卒業までには、相当のお金が必要です。また、一般的に受験料は出願時に、入学金は合格後10日以内に、前期授業料等は入学までに、それぞれ納付しなければなりません。進学先を決める時には、どの時期に、どれくらいの費用がかかるかを必ず調べ、保護者としっかり話し合いをし、準備しておきましょう。

奨学金制度については「**5 奨学金**」→P. 11を見てください。

#### 費用の例（1年次の年間）

	〇〇大学（経）	××大学（文）	△△短大	●●専門学校
検定料	35,000	35,000	30,000	20,000
入学金	200,000	250,000	300,000	学校、学科によって大きく異なるので、自分で調べましょう。
学費・授業料	1,062,000	720,000	830,000	
設備費等	120,000	160,000	150,000	
諸会費	18,000	114,500	96,200	
計	1,435,000	1,279,500	1,406,200	

※ほかに教科書、教材費や実験実習費、通学交通費など相当な額の費用がかかります。

## 2-2-1 進学に向けてのスケジュール

時期	内容	詳細
～6月中旬	希望校の絞り込み	・ 学校案内を自分で取り寄せ、学校の情報を得る ・ 問題集、参考書などについて、担任や進路担当などに相談
6月頃～	オープンキャンパスに参加	・ 各学校が行っているオープンキャンパスへ積極的に参加
6月頃～	A0入試出願	・ 合格を早く決めたくても焦りは禁物 ・ 早い時期に合格が決まると、入学金等の納入が早くなるので注意
～9月中旬	大学入学センター試験出願	・ 大学入学センター試験の受験希望者は担任の先生に相談
9月中旬～ 10月下旬	各種推薦入試・ 社会人入試出願	・ 学校長の推薦が必要 ・ 推薦基準を確認し、早めに担任の先生に相談 ・ 入試申し込み時に必要な書類の確認
1月中旬	大学入試センター試験	・ 入試に向けて日々の努力！
1月下旬～	一般入試	・ 入試に向けて日々の努力！

## 2-2-2 入試方法の時期と詳細

入試には様々な方法があり、受験の時期が異なります。しっかり下調べをしましょう。

### AO入試（アドミッション・オフィスシステム）

入試時期	6月～12月
出願条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な出願資格がある</li> <li>・規定の評定平均、出席状況を満たしている</li> </ul>
選抜方法	面接・自己アピール・書類審査等
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験生の目標と学校の教育が合致している</li> <li>・学業以外の活動実績、将来に向けての意欲・情熱・適性を重視</li> <li>・自分の考えや意見をまとめ、表現できる</li> </ul>
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願者自身の人物像を大学側の求める学生像（アドミッション・ポリシー）と照らし合わせて合否を決める</li> <li>・志望理由書や面接などにより、出願者の個性や適性に対して多面的な評価を試みる点に特色がある</li> <li>・志望理由書などの選考書類や面接、小論文などで、アドミッション・ポリシーを理解し共鳴していることと、その大学・学部を強く志望していること、そして自分の能力と適性を積極的にアピールする必要がある</li> <li>・「面白そうだから」「就職に有利だから」などの学問自体への興味が感じられない理由ではなく、なぜこの大学・学部で学びたいのかを具体的に述べるができるようにしておく</li> <li>・6月ごろから実施している学校もあり、それぞれ入試方法が異なるので、よく調べる</li> </ul>

### 指定校推薦

入試時期	10月～12月
出願条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な出願資格がある</li> <li>・規定の評定平均・出席状況を満たしており、学校長の推薦がある</li> </ul>
選抜方法	面接・書類審査・実技や小論文等
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・短大が高校に指定校を依頼する</li> <li>・高校の成績や出席状況が優れており、目標・志望が明確である</li> </ul>
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や短大が特定の高校を指定して推薦入学させる</li> <li>・人数制限、評定平均値が3.6以上、欠席日数が10日以内などの条件が付いている</li> <li>・基準を満たして出願すればほぼ合格できるが、<u>合格すれば必ず入学することが条件になっているので、受験者は他に<u>出願したり入学を辞退したりすることはできない</u></u></li> </ul>

### 公募推薦

入試時期	11月～12月
出願条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な出願資格がある</li> <li>・規定の評定平均・出席状況を満たしており、学校長の推薦がある</li> </ul>
選抜方法	面接・書類審査・小論文・学力試験等
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後の目標がある</li> <li>・普段の成績や出席状況がよい</li> </ul>
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評定平均値が3.5以上等、成績による条件があり、調査書の内容や面接の結果がかなり重く見られる</li> <li>・学科試験があったとしても、受験科目数が少ない場合が多い</li> </ul>



## 社会人入試

入試時期	10月～
出願条件	・ 基本的な出願資格がある ・ 社会人であり、年齢制限を満たしている
選抜方法	面接・書類審査・小論文・学科試験等
特徴等	・ 高卒資格と社会人資格が必要 ・ 小論文が必須科目
説明	・ 一般入試の受験資格を持っていることが前提で、年齢や社会人としての勤続年数などの条件が加わる ・ 過去には高齢の生徒が進学した例もあり、年配生徒の進学希望者におすすめ ・ 大学、学部によっては英語等の筆記試験があり、「小論文」が必須科目となるので、この勉強は欠かせない ・ 「書類審査」では必ず「志望理由書」というものを要求される

## 一般入試（大学入学センター試験も含む）

入試時期	1月下旬～3月
出願条件	・ 基本的な出願資格がある
選抜方法	学科試験・センター試験併用等
特徴等	・ 相当の学力が必要
説明	・ 各大学が行っている学科試験を受ける方法と、大学入試センター試験と学科試験の両方を受ける方法がある ・ 国公立の大学では大学入試センター試験の点数と、学校独自の学科試験の点数で合否を判定する ・ 私立や一部の公立校では、大学入試センター試験の点数のみで合否を判定したり、学校独自の学科試験の点数のみで合否を判定したりしており、判定される内容がテストの点数のみとなるので、相当な努力が必要

### ※大学入学センター試験について

毎年1月中旬に行っている大学の共通入学試験で、**出願は9月上旬**です。全日制と一括で申し込むこととなりますので、出願期間には十分に注意してください。

## 2-3 専門学校を知る

### 2-3-1 資格取得について

卒業すると資格が取得できたり、資格の受験資格が得られたりすることができますが、もちろん自分自身の努力が大いに必要になります。資格について紹介します。 ※名称が変わる資格もあります。

#### ・ 専門学校を卒業すると受験資格が取得できる資格

2級建築士・航空操縦士・消防設備士・看護師・理学療法士・作業療法士・マッサージ師・鍼灸師・歯科衛生士・歯科技工士・臨床検査技師・理容師・美容師など

#### ・ 専門学校を卒業すると試験の1部が免除される資格

自動車整備士・無線技術士・無線通信士・電気工事士・洋裁技術検定など

#### ・ 専門学校を卒業すると、資格が取得できる資格

栄養士・調理師・幼稚園(二種)・小学校教諭(二種)・介護福祉士・養護教諭(二種)・保育士・社会福祉主事など

#### ・ 検定合格に有利なもの

情報処理技術者・放射線取扱主任者・秘書技能検定・旅行業務取扱主任者など

## 2-3-2 分野と職種について

専門学校は、その学科の関連する職業がどの産業形態に属するかによって、以下の8つの系統・分野に分類されます。この分野からの就職先をしっかりと把握しておかないと、間違った学校選択になりかねません。自分は将来どのような仕事に就きたいのか。そしてその仕事に就くためには、どのような分野の専門学校を目指せばいいのか。この2つを考えてください。

- ・工業
- ・商業実務
- ・医療
- ・衛生
- ・文化、教養
- ・教育、福祉
- ・服飾、家政
- ・農業

## 2-3-3 専門学校選び

専門学校選びは、自分が将来就く仕事に直結しているので、慎重にならなければなりません。自分が将来就きたい仕事に必要な専門技能や専門技術を身につけられる学校を探すことが大切です。基礎学力、目的意識や持続力などについて、今一度自分自身に問いかけてみましょう。

### ①進学説明会（校内・外部会場での開催）へ積極的に参加

それぞれの学校の説明会やオープンキャンパスへ積極的に参加しましょう。学校案内からは見えない部分が見えたり、体験的なことをさせてもらえたり、入試担当の方と直接話ができたりします。同一分野で複数校を比較・検討することが効果的です。

### ②学校を詳しく調べる

自分が目指す分野が決まれば、いくつかの専門学校に絞られてきます。その学校が認可を受けているか、就職状況、教育内容、取得資格、施設、設備、入学選考方法、学費、学費援助制度、奨学金制度が活用できるかどうかなど、保護者や担任、進路指導の先生とともによく検討して選びましょう。各学校に資料請求することはもちろんのこと、インターネットなどの情報を利用しましょう。

※認可を受けていない学校の中には、しっかりとしたカリキュラムを持ち、高い就職実績を挙げている学校もありますが、「学生割引」「公的な奨学金」などを利用することができず、「学歴として履歴書に記入」することができません。

### ③入学選考日程と入学選抜方法

A0入試、推薦入試、一般入試と分けて募集する学校から、随時受付をしている学校など、幅広い募集方法があります。6月上旬から入試が始まるところもあるので、自分の志望校の情報は早く集めるようにしましょう。多くの専門学校は、書類審査、面接を中心に合否を判定します。ただし、看護・医療・福祉系などは学科試験が中心になります。目的意識の低い人、基礎学力不足の人、欠席日数の多い人などは不合格になる場合が多いです。

## 2-4 保護者の方へ

進学を目指すには、何よりも資金が必要になりますが、まずはお子様の話を聞いてみてください。本人の意志が固いようでしたら、奨学金などの利用を含めて、担任か進路担当へご相談ください。「働きたくないからとりあえず進学したい」ということでない限り、できるだけ応援していただきますよう、よろしく願いいたします。

## 3 就職

### 3-1 就職方法

#### ①学校紹介就職

**学校紹介就職**は学校がハローワークの業務を一部代行する形になっていて、高校生ではこの就職の仕方が一般的です。学校紹介就職では7月1日から事業所より求人票が送られてきます。その求人票をもとに働きたい事業所（受験希望事業所）を9月初旬に決定します。そして9月16日から面接・筆記試験などの「入社試験」が実施されます。

学校紹介就職を希望する場合は、総合的な学習の時間で開講される「就職セミナー」を受講する必要があります。この講座を受講できるのは卒業学年で就職を希望している生徒のみで、休まずに受講すれば内定をもらう（過去の実績より）ことができます。講座では入社試験の対策として、**履歴書の作成、筆記試験の勉強、面接練習**などを実施します。**面接試験**はすべての事業所が実施していますし、**筆記試験**を実施する事業所も多くあります。**学校の出欠と成績**の情報は調査書に記載して事業所に渡します。よって、日々の学習にも力を入れてください。

一次入社試験（9月16日解禁）を受験可能な事業所は、生徒一人に対して1社となっていますが、11月以降は一人の就職希望者が同時に2社を受験可能となっています。

#### ②自己就職と縁故就職

自分でハローワークに行ったり就職情報誌を読んだりして就職先を探したり、アルバイト先に正社員雇用してもらったりする**自己就職**と、親戚や知り合いのコネで就職先を探す**縁故就職**があります。しかし、自己就職や縁故就職で就職先を決定する場合でも、必ず担任の先生と進路指導の先生に相談してください。当該事業所に学校から連絡を取り、求人票の送付をお願いすることが可能かもしれません。求人票を送ってもらうことにより、事業所の求人条件などを明確に知ることができ、きちんとしたルールで就職活動が行われるので、入社までの不安は取り除かれます。

#### ③公務員採用

各自治体によって採用人数、選考方法が違い、出願期間が早く設定されているものもあります。大阪市や大阪府の募集要項は学校に送ってくるので、必要な人は進路指導の先生へ申し出てください。学校紹介就職との併願はできないので注意してください。公務員を目指すためには、余程の覚悟と受験準備がないと難しいです。

高校卒業程度の試験が課される例

国家公務員Ⅲ種	地方公務員初級	警察官	消防官
皇宮護衛官	刑務官	入国刑務官	裁判官事務官3種

#### ④働きながらの進学

正社員として働きながら専門学校や大学・短大等へ進学することをいいます。これには本人の「仕事と勉強の両立」という努力が必須条件で、職場の理解も必要です。求人票の中に「**通学可**」、「**通学不可**」の表示があります。例えば「**看護助手**」として勤務しながら、看護系の専門学校へ通う」「**美容師見習い**」として勤務しながら、理容美容系の専門学校へ通う」などがあります。この場合、学校紹介就職で内定をもらってから専門学校を受験するかどうかは応募前職場見学等で事前に情報を入手しておかなければなりません。

## 3-2 保護者の方へ

厚生労働省が発表した2017年4月の有効求人倍率は、1.48倍となり、バブル期ピークだった1990年7月の1.46倍を上回ったそうです。有効求人倍率とは、一人の求職者に対して何社の求人があるかを表しています。1.48倍とは、一人の求職者に1.48社の求人がある、ということです。一見、就職を希望する生徒のみなさんにとっては有利な情勢に思われます。しかし現実的には、人気のある企業に希望者が集中している一方で、慢性的に人手不足の企業、職種もあり、本人の希望通りの就職は相変わらず難しい状況もあります。

本校では毎日の学校生活を無駄にしないよう、欠席・遅刻・早退を無くし、基礎学力をしっかりと身につけるような指導をしております。また、仕事をする上で必要な「コミュニケーション能力」を向上させなければなりません。そして、普段からの言葉づかいも大切です。これらは数ヶ月間の付け焼刃で身につくものではありません。ご家庭でも日頃からのご協力をよろしくお願いいたします。

学校紹介による就職をご希望される場合は、別紙「学校紹介就職斡旋願い」に保護者の方の署名捺印をしていただくようお願いしております。就職の斡旋に関する学校の進路指導に、本人を必ず参加させるよう、ご協力願います。

就職の希望職種等については、本人の思いを十分に尊重した上で、ご家族で時間をかけて話し合ってください。7月以降、お子様が求人票を持って帰りますので、相談にのってあげてください。そして、応募先の決定にあたっては、保護者の方に最終的な承認をお願いしております。担任、進路担当からの連絡があった場合は、この点も確認させていただきます。また、ご家族のご要望（例：「こんな企業に就職させたい」等）があれば、担任か進路指導担当にご相談ください。

### 注意事項：

**事業所との連絡は、すべて学校から職安を通して行うという規則があります。保護者の方が事業所へ連絡をすることは違反行為になりますので、お気をつけください。事業所にお聞きしたいこと、就職全般についてご不明な点がありましたら、必ず学校に連絡してください。**

## 4 その他

様々な事情で就職できない、進学できないという場合がありますが、「働きたくないから何もしない」「ずっとアルバイトでいい」ということだけはやめましょう。また、仕事をリタイヤした等で就職する必要がない方の中で、「高校卒業後も継続して何かを学びたい」と考えられているのであれば、担任か進路指導の先生までご相談ください。

## 5 奨学金

奨学金を利用するには、タイムスケジュールを綿密に組むことが必要になります。奨学金は「借りる」ものであって「貰える」ものではありません。奨学金を受ける前に、保護者や担任、奨学金担当の先生とよく話し合っ、無理のない返還計画を立ててください。

ここでは、進学予定者向けの日本学生支援機構予約奨学金について説明しますが、これ以外にも奨学金はあります。また、本校在籍中に受けることができる奨学金もあります。詳しくは奨学金説明会などで案内します。

### 日本学生支援機構予約奨学金

#### ① 第一種奨学金（無利子貸与）

募集期間は5～7月で、決定は10月下旬です。実際に借用できるのは入学後の5月頃になります。貸付金額は以下の通りです。※平成29年度現在

区 分	大学		短期大学・専修学校	
	国・公立	私立	国・公立	私立
自宅月額	45,000円	54,000円	45,000円	53,000円
自宅外月額	51,000円	64,000円	51,000円	60,000円

月賦返還（毎月の返済）の例…4年生大学の場合

区 分		貸与月額	返還総額	返還回数	月賦金額
国公立	自宅	45,000円	2,160,000円	168回（14年）	12,857円
	自宅外	51,000円	2,448,000円	180回（15年）	13,600円
私立	自宅	54,000円	2,592,000円	180回（15年）	14,400円
	自宅外	64,000円	3,072,000円	216回（18年）	14,222円

※自宅外とは下宿などから通学する場合のことをいいます。

#### ② 第二種奨学金（有利子貸与）

募集期間は5～7月と10～11月の2回で、決定は2月下旬です。3万円、5万円、8万円、10万円の中から必要な額を申込時に選択します（基本月額）。進学後、貸与中に月額を変更することも出来ます。

月賦返還（毎月の返済）の例…4年生大学の場合

貸与月額	貸与総額	返還予定総額	返還回数	月賦金額
3万円	1,440,000円	1,761,917円	156回（13年）	11,293円
5万円	2,400,000円	3,018,568円	180回（15年）	16,769円
8万円	3,840,000円	5,167,586円	240回（20年）	21,531円
10万円	4,800,000円	6,459,510円	240回（20年）	26,914円
12万円	5,760,000円	7,751,445円	240回（20年）	32,397円

※12万円を選択した場合のみ、私立の医・歯・薬・獣医は増額可。

#### ③ 入学時特別増額貸与奨学金（有利子貸与）

第一種または第二種奨学金と併せて申込を受け付けます。単独での申込は受け付けません。10万～50万円を第一種奨学金または第二種奨学金の初回振込時（通常5月、または6月）に合わせて貸与されます。

※振込日の関係上、入学前に必要な入学金等に直接充てることはできません。詳しくは奨学金担当の先生に問い合わせましょう。

## 6 障がいがある人の進路

進学する場合も就職する場合も、障がい者手帳を取得することが大切です。この手帳が有ることによって、進路選択の幅が広がります。又、社会的な自立につながります。障がい者手帳には、「身体障がい者手帳」、「療育手帳」、「精神障がい者保健福祉手帳」の3種類がありますが、取得する為にはそれぞれに手続きが異なります。取得までに時間がかかる場合もありますので、卒業学年になる前の出来るだけ早い時期から、担任の先生はもちろん、進路指導室や保健室、教育相談担当の先生に相談してください。

### 6-1 働くことを学ぶ（進学）

#### ①職業能力開発校

色々な職業の訓練をしながら働く力を身につけます。科目や訓練の期間は学校によって違います。

#### ②大学、短大、専門学校

詳しくは「2-1 進学全般（大学、短大、専門学校の違い）」→P.4を見ましょう。

### 6-2 働く（就職）

#### ①企業就労

「企業就労」には3つの方法があります。

- ・一般企業に普通に就労
- ・一般企業の障がい者枠で就労

「障がい者手帳を持っている」と会社に知らせることで、色々な配慮をしてもらえることがあります。

- ・特例子会社に就職

会社が障がい者のための特別な配慮をして設立した子会社のことです。大手企業の子会社であることが多いので、安定しています。

#### ②就労継続支援事業A型就労

仕事のしかたは一般企業と似ています。雇用契約を結び給料をもらいながら、就労をめざして技術を身につけます。最低賃金以上が支払われます。

#### ③就労移行支援事業所（通所施設）

通所して、就職に向けてのトレーニングを行います。ここでは様々な職業訓練（マナーやパソコン技術、面接練習など）を受け、就職に結びつくことを目指します。就労支援員もいて、就職に関する相談やアドバイスも受けられます。

#### ④作業所（通所施設）

企業に就労することが難しく、雇用契約を結んで働くことも難しい人が、企業就労やA型就労をめざして通所します。少ない賃金をもらいながら色々な技術を身につけます。

#### ⑤入所施設（居住施設）

自分の力で生活ができるよう、施設に入所します。仕事をしたり、生活の仕方を学んだりします。

## 7 卒業生の主な進路

### 進学

#### (大学・短期大学)

大阪商業大学（経済学部）、大阪国際大学（人間科学部/国際コミュニケーション学部）、大阪国際大学短期大学部（幼児保育学科）、産業技術短期大学（電気電子工学科）、大谷大学（文学部）、京都造形芸術大学（通信教育部芸術学部）、京都外国語大学短期大学部 など

#### (専門学校・各種学校)

上田安子服飾専門学校、ESPエンタテイメント音楽専門学校、近畿リハビリテーション学院、大阪リゾート&スポーツ専門学校、大阪社会体育専門学校、エコール辻大阪専門学校、大阪モード学園、大手前製菓学院専門学校、高知医療学院 など

### 就職

株式会社コノミヤ、株式会社イノダコーヒー、SSA工業株式会社、株式会社リポーズ、社会福祉法人東和福社会特別養護老人ホーム寝屋川苑、株式会社瀬戸内、株式会社レイカズン、大日加工株式会社、株式会社モリコーポレーション、株式会社関通、ナカザワ技研株式会社、ホロニクスヘルスケア株式会社、株式会社大豊製作所、株式会社ラ・カーヴコーポレーション、医療法人宝持会 池田病院、Better& Basic 株式会社、株式会社 関通、株式会社 エイジェック 大阪オフィス、特定医療法人三上会 東香里病院、有限会社 光通信、株式会社 大豊製作所、株式会社 エコトラック、UTパベック株式会社、株式会社 アカクラ、有限会社 スギテック 尼崎システムカンパニー、株式会社 レールセキュリティー、社会福祉法人パルツァ事業会 特別養護老人ホームサールナート、社会福祉法人敬英福社会 特別養護老人ホーム 幸楽の里ねや川、ヤマモトプロジェクト 有限会社、株式会社 電算、株式会社 共和機設製作所、フジ工業 株式会社、公益財団法人 浅香山病院、株式会社 まつの、社会福祉法人福友会 うぐいすの里、株式会社 ジャックと豆の木、テクノ北摂 株式会社、有限会社 ティエラ、日本駐車場開発 株式会社、株式会社 モンテローザ、株式会社ピーエス・アイ・コーポレーション、株式会社乗馬クラブクレイン、NPO 法人 れんげメディカルグループ、有限会社 スタイルキューブ、株式会社 共進エクスプレス など

## 8 最後に

### 今すぐはじめよう！

自分の未来のために次のことをすぐにはじめましょう。

- 規律正しい生活（遅刻や欠席をしない etc.）
- ニュース、新聞などを見て時事問題に強くなる
- 基礎学力（国・数・英）をつける
- 挨拶などの社会通念上のマナーを身につける
- 人と話をしてコミュニケーション力を高める
- 自分のやりたいことを考え、進路希望を定める

あなたはいくつのことができていますか？